



明日に向かって

報告レポート No.73

喜びも悲しみも分けあって支え合い、共に生きる社会の実現に向けて



かつて議席を並べた、鶴田町相川町長と

地方創生の更なる推進、その中であって町、人、仕事の法においても、人口減少と少子化に歯止めがかからない。久しぶりに話がはずむ。

地球環境が変わり、水産振興にも大きな打撃を与えている。今回の補正は、陸奥湾のホタテガイ養殖業の再生に向けた緊急対策に要する経費、また、社会資本整備総合交付金事業及び県費単独事業の早期発注に係る債務負担行為を設定すること等が主なものです。限られた予算を最大限に活かし県民の為に頑張ります。いつも乍らの報告ですがご高覧頂き貴重な声を届けて下さい。



電話でお金の話、それは詐欺です

警察や金融機関、役所の職員がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くことは絶対に無い。ATMで還付金などを受け取ることは絶対にできない。

だまされないでね!

特殊詐欺被害は、ほぼ毎日のように新聞紙上に掲載されています。

振り込め詐欺に注意!



青森県消費生活センター
マスコットキャラクター
「テルミちゃん」 ☎ (Tel Me)

青森県特殊詐欺被害防止キャラクター
「サギかもくん」

消費者ホットライン

い や や!

☎ 188

〔青森県消費者生活センター〕
017-722-3343

警察安全相談電話

#9110 または
017-735-9110

警察資料から

青森県議会議員

工藤 兼光

皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

〒038-2712 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字長平町字甲音羽山59-2
TEL 0173-72-1224・FAX 0173-72-1233

討 議 資 料

第25回都道府県議会、議員研究交流大会

演題 「ワンヘルスの推進について」



毎年この時期に(11月)都道府県議会議員研究交流大会が開催、25回目を迎え全国から約500人、東京会場で「前田健氏、獣医博士」の講演に熱心に耳を傾ける議員の方達。

「ワンヘルス」とは

より良い公衆衛生を達成する為に、複数のセクターがコミュニケーションをとり協力しながら、プログラム、政策、法律、研究を立案、実施するアプローチの事であるとのこと、ワンヘルス、アプローチが特に関連する分野は、食品安全、人獣共通感染症の制御、薬剤耐性菌との闘いなどであると言う。目まぐるしく変化する社会にあって感染症は後を絶たない、そして狂犬病についても話された。

発症すれば100%死亡、世界では1年に59,000人死亡、イヌに咬まれたら、野生動物に咬まれたらすぐ傷口を洗い、すぐワクチンを接種との事であります。



前列左から、櫛引、田中、成田、工藤、阿部県議

講演2は、海老原諭氏による「地方創生をめぐる最近の動向」、その後パネルディスカッション、パネリストには北海道議会議員、富山県議会議員が務められ、「地方創生の推進と地方議会の役割」について意見や質問が活発に行われました。主なる話題は、急速な少子高齢化の進展に的確な対応、歯止がかからない人口減少等でした。

「白神山地周辺をユネスコエコパーク登録に」

この活動がある事から青森、秋田の両県知事がリーダーシップで周辺自治体に呼びかけるなど、県として取り組むべきではないか、と言う趣旨の質問がありました。

答弁ではユネスコエコパークは、生態系の保存と持続可能な利活用の調和を目的とし、認定される以前にその目的に沿った地域主導の活動が、認定後はこうした活動の継続・発展を担保する組織体制や計画が求められます。まずはそれぞれの地元において、その必要性の理解や機運の醸成に取り組んでいただく必要があると考えています。



また、令和7年9月17日のRAB取材時における知事発言

- そもそも、今、世界遺産に登録されているということ、そのことだけですごく価値のあることだと思います。エコパークというのは、おそらくその活動をこれからどうやっていくか、その結果としてエコパークがあるんだと思うんですね。
- ですから、エコパークが目的ということではなくて、とにかく、いかに白神を通じて青森県の価値を高めたり、白神を通じて多くの人たちに来ていただいたり、そういったことをしていくことのほうがむしろ大事だと思っています。

知事の答弁と根深さんのお話によれば、地域の活動によって機運を高める事が大事だと。



黄金の海、西海岸日本海

鱒ヶ沢町、深浦町の海岸線は80キロメートルにも及ぶ、
そして続く日本海黄金の海そのものでした。

ニシンや寒ブリ、ハタハタなど、そして又サケも沢山里帰りし、
鱒ヶ沢甚句の歌詞にあるように、銀のうろこで浜光り輝いていたのです。
しかしながら高度経済成長期にはいり世界的にCO2の排出量が多くなり、
上空のオゾン層が破壊され、地球温暖化時代に入っていったのです。

その中でスルメイカの漁師たちは、不漁に苦しんできました。
今年はある程度収入が見込める兆しが見え始めたところに、禁漁措置が発出されたのです。
この制度は対象魚種が漁獲枠に達した場合に全国一律の規制となるため、
地域格差が大きく発生して、漁師達からはこの禁漁措置に関して
強い不満の声が上がっているのです。



「小型イカ釣り漁業者の切実な声を受けて」

「漁獲可能量」制度は、漁獲枠に達した場合、全国一律の規制となるため、
地域間格差が発生しており漁業者からは、強い不満の声が上がっています。

私達、自民党会派では漁獲可能量制度の実情に応じた、
柔軟な運用を求める要望書を、自民党鈴木幹事長に、山下雄平農水副大臣に、
津島県連会長が手渡しています。



小枝組合長からもお話を聞きました。

「中型哺乳類の農作物被害」

今年も、ツキノワグマの出没件数や人身被害、また農作物の被害も甚大でした。そのため、その陰に隠れてしまったハクビシンやアライグマといった中型哺乳類による農作物の被害も深刻化していたことを、農家の方々から直接聞かされました。私が地域の情報収集に歩いていたこの秋、山田野の集落の方と出会いました。こんにちは、と挨拶をし今年も、天候も良く暖かったので、お米も、リンゴも、また、あなた達が生産されているスイカも良かったね、と言葉をかけました。

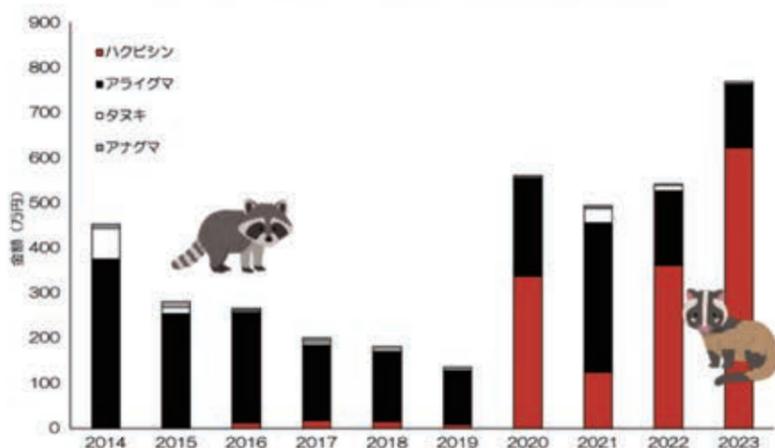


しかしその方は言いました。出来栄は良かったけど、ハクビシンやアライグマが現れてこちらにいれば向こうから、向こうにいればこちらから、毎日20個ぐらいの被害があった事を話してくれました。

しかし、県の農林部からの説明によれば、即効性のある対策はなく、餌になるものや潜み場所をなくする事、被害を見つけたら役場に相談し、アライグマの行動に詳しい人の知恵を借り、柵で囲ったり箱わななどで捕獲しよう、との事でした。

大きな実をつけるスイカ

中型哺乳類の農作物被害金額



間違えやすい中型哺乳類



ちょっとした緑地、公園、土手、線路沿いなどにも生息

町中にも進出



運動能力が高い

人家を住処にすることを好む



アライグマ



ハクビシン



県、農林水産部資料から

青の煌めきあおもり国スポ 2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って

青森県で開催される国スポ、障スポが来年に迫り機運が高まって参りました。

青の煌めき国スポの実施競技の中には、デモンストレーションスポーツ、通称「デモスポ」と呼ばれる正式競技とは違い、子供からご高齢の方まで県民の皆さんが気軽に参加できる競技があります。

鯺ヶ沢町、深浦町には正式競技はありませんが健康づくりや体力の向上、世代間や地域間の交流の輪を広げること等を目的とした「デモスポ」が開催され、鯺ヶ沢町では「マスターズスイミング」深浦町では「ノルディックウォーキング」が開催されます。

参加申し込み方法は、町を通じてお知らせするとの事です。



— 昭和100年記念 —

2026 AOMORI

国スポ 冬季大会	2026年1月31日(土) ~ 2月17日(火)
国スポ 本大会	2026年10月10日(土) ~ 10月20日(火)
	会期前I 2026年9月3日(木)~9月13日(日)
	会期前II 2026年10月2日(金)~10月7日(水)
障スポ	2026年10月23日(金) ~ 10月26日(月)

マスターズスイミング 鯺ヶ沢町

会場：鯺ヶ沢町スポーツセンター
室内温水プール

開催日：2026年 7月5日(日)

マスターズスイミングは、高校を卒業した18歳以上から参加可能なスポーツです。健康・友情・相互理解・競技をモットーに水泳を楽しむことができます。18歳~24歳区分等、5歳毎に区分し、水泳競技者として長年続けてきたリターンスイマーや、水泳初心者であっても、それぞれ目標を設置し能力に応じて楽しむことができるスポーツです。

競 個



ノルディックウォーキング 深浦町

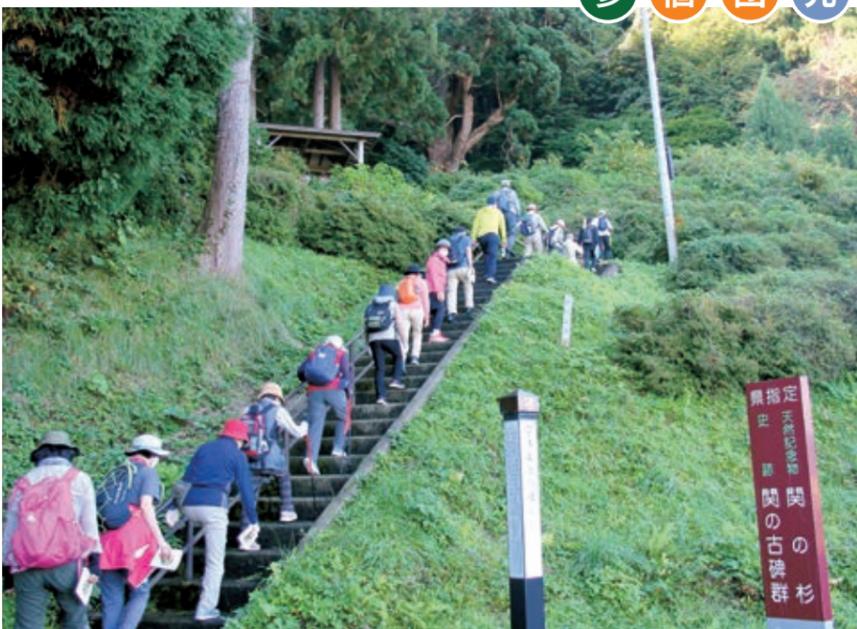
ノルディックウォーキングは、2本のポールを使ったウォーキングで、通常のウォーキングに比べ全身運動効果が高く、若い人から高齢者まで気軽にできるスポーツです。

会場：深浦町内野外コース

開催日：2026年 5月30日(土)

深浦町内では、文化財を巡り、春暖の風景を楽しみながらウォーキングをします。歩くことを通じて健康づくりや、参加者同士の交流を深めることを目的に実施します。

参 個 団 先



自転車の スマホ・酒気帯び | 罰則強化

運転者本人もとより、
家族も、友達も皆で確かめ合っ
て事故の無い安全な町に

自転車への交通反則通告制度(青切符)の導入

- ・令和8年4月から、自転車の一定の交通違反に、交通反則通告制度が導入されます。
- ・本資料は、その制度の概要をまとめたものであり、詳細は、警察庁HPに掲載されている「自転車ルールブック」をお読みください。

令和8年4月1日から

- 自転車に対する交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)の適用
- 16歳以上**の自転車運転者が交通反則通告制度の対象となります。

自転車の指導取締りの基本的な考え方



●検挙後の手続が変わります(青切符による手続が導入されます。)

検挙

重大な違反や事故を起こしたとき → 刑事手続

- ・逮捕される場合もあります。
- 違反自体が悪質・危険である重大な違反
[検挙(刑事手続により処理)]



- 違反により実際に交通事故を発生させたとき
[検挙(刑事手続により処理)]



*記載している交通違反は例であり、これら以外の違反でも検挙の対象となり得ます。

16歳以上の者による反則行為 → 青切符

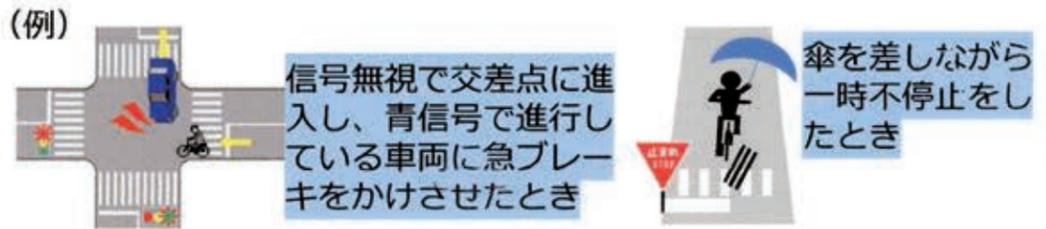
指導・警告を経ず検挙の対象となる違反【例】

- 反則行為の中でも、重大な事故につながるおそれが高い違反
[検挙(青切符~反則金を納付すれば手続終了)]



- 違反の結果、実際に交通への危険を生じさせたり、事故の危険が高まっているとき

[検挙(青切符~反則金を納付すれば手続終了)]



- そのほか、違反について指導・警告されているにもかかわらず、または、あえて違反を行ったときは、検挙される場合があります。

[検挙(青切符~反則金を納付すれば手続終了)]



青森県警察本部

県警察資料から

自然エネルギー、脚光を浴びている風力発電

津軽港の沖合、深浦、鱒ヶ沢、つがる市一帯の海に洋上風力発電の事業予定通り

地球環境の変化に伴い、温暖化に歯止めがかからない状況が続いています。産業が発展する為には電力が必要不可欠です。その為、CO2の排出量も大きくなります。その事によってオゾン層が破壊され温暖化が進み、世界的にも大きな課題であるのは言うまでもありません。風力発電が自然エネルギーの柱として注目を集めています。しかし欠点もある訳であります。風が吹かなければ電気は作れない。この弱点を補うため、陸上よりも安定した強い風が得られる洋上風力発電が期待されています。

現在、令和10年の完成を目指して工事が進められています。すでに商業運転している、秋田港、能代港の洋上風力発電の取り組みは、私共建設委員会で現地調査を実施いたしました。その結果、これらが地域振興に大きく貢献していることを確認し、既に皆様にご報告差し上げたところ です。



「保守・管理拠点港」建設（O&M）港

ここに来て、またまた新聞の見出しに「洋上風力に影」とある記事を読みました。物価高騰により大手企業連合が、洋上風力発電事業から撤退した。世界的インフレの影響で、建設コストがほぼ2倍に高騰、採算が合わなくなったとの事だ。しかしこの地域の洋上風力発電の事業は予定通りだと、9月議会の一般質問で理事者側での答弁があったのを覚えています。

今では、基地港湾に指定されている青森港も工事着工され津軽港に於いても、保守・管理拠点港建設予定されている場所は、積みあげた砂山の撤去も進んでおります。

物価高に負けることなく、洋上風力発電事業が予定通りスピーディーに進まれることを各関係機関と連携を密にして機運を挙げて行かなければなりません。

